

やきもの展のご案内

LIXILギャラリーは株式会社LIXILの文化活動としてやきもの展を開催しています。タイルから茶碗まで、やきものは私たちの心豊かな暮らしを彩ります。「生活とアート」をコンセプトに、森 孝一氏(美術評論家・日本陶磁協会常任理事)をアドバイザーに迎えたセレクションです。

寄神宗美展「RE-CREATIONS」

会期:2019年1月18日(金)~3月21日(木・祝)

会場:LIXILギャラリー



「Re-Creations 桜-1」 W440xD150xH415mm
撮影:畠山 崇

| 本リリースに関するお問い合わせ先 |

LIXIL ギャラリー (<http://www.livingculture.lixil/gallery/>)

所在地:東京都中央区京橋 3-6-18 東京建物京橋ビル LIXIL:GINZA 2F

担当:大橋恵美 田村志保

TEL:03-5250-6530 Email:xbn@lixil.com



LIXIL ギャラリーでは2019年1月18日（金）～3月21日（木・祝）の期間、寄神宗美展「RE-CREATIONS」を開催します。

寄神氏は京都出身で八木一夫に師事、1980年～1998年の18年間「走泥社」同人として制作をしています。「RE-CREATIONS」は1984年より続く作家の代表的な作品です。今展では陶の造形と木の造形を組み合わせた新作を含むオブジェ約8点を展示する予定です。満開の桜並木にかかる霞が立体的に表現された作品（表紙「Re-Creations 桜-1」）は、寄神氏の特徴である艶やかな大理石のような陶肌が、春の香りたつような雰囲気を表現しています。



「Re-Creations 松-2」
W430xD250xH430 mm
撮影：島山 崇

開催概要 | 寄神宗美展「RE-CREATIONS」

会 期 2019年1月18日（金）～2019年3月21日（木・祝）
休 館 日 水曜日、2019年2月24日（日）
開館時間 10：00～18：00
企画制作 株式会社 LIXIL
会 場 LIXIL ギャラリー
入 場 料 無料
詳 細 <http://www.livingculture.lixil/topics/gallery/g3-1901/>

関連企画 | アーティスト・トーク

本展のアドバイザーである森孝一氏が寄神宗美氏へインタビュー形式でトークを行います。

開催日時 2019年1月18日（金）18：00～
会 場 LIXIL ギャラリー

| 展覧会の見どころ |

寄神宗美氏の代表作「RE-CREATIONS」が生まれる契機となったのは、1983年に作品制作中、かたちを整え、これから焼成という時に割れてしまったのです。ところが割れた破片は美しく、それらを別々に焼成して再度組み合わせたところ、人の手による造形と自然の力の作用によるかたちとに、独特の調和を発見しました。この体験からそれまでの「やきものは割れてはいけない」という考え方に疑いを持つようになります。こうして、素焼したものを破断させた後、再度それぞれ焼成したものを接着して作り上げる「RE-CREATIONS」は誕生しました。「RE-CREATIONS」は、寄神氏独自の幾何学形体の造形を可能にし、やきものの本質を体現することで、やきものの深い魅力を表現しています。寄神氏はこれまで国内外で受賞を重ね、現在は中国湖北省の美術学院で後進の指導にもあたっています。

| 作者略歴 | 寄神宗美 (YORIGAMI Munemi)

経歴

- 1944 京都市に生まれる
- 1967 東京農業大学農学部造園学科卒業
- 1969 八木一夫に師事（～1972）
- 1980 走泥社 同人となる／社団法人日本クラフトデザイン協会に加入
- 1994 平安遷都 1200 年京都屋外陶芸展'94 実行委員長（梅小路公園／京都）
- 1998 走泥社解散／岡山県立大学デザイン学部大学院 非常勤講師を勤める（～2000）
- 2000 嵯峨美術短期大学美術学部陶芸科 非常勤講師を勤める
京都市立芸術大学彫刻科 非常勤講師を勤める（～2004）
- 2015 中国湖北美術学院 客員教授（中国・武漢～現在）

作家活動

- 1980 走泥社展出品、以後、毎年出品（京都）
- 1984 朝日陶芸展出品（名古屋）
- 1985 朝日クラフト展出品（大阪）
- 1986～1989 八木一夫賞 現代陶芸展（1987 優秀賞）（東京、大阪）
- 1989 「今日のクレイワーク」展（神奈川県民ホール／神奈川）
- 1990 第 41 回京都美術工芸展 優秀賞（京都府文化博物館／京都）
「土の造形」展（栃木県立美術館／栃木）
日韓青年陶芸展（錦湖美術館／ソウル、韓国）
- 1991 第 47 回ファエンツァ国際陶芸展 金賞（イタリア）
セラミック・フォーラム京都'91（京都伝統産業ふれあい館／京都）
- 1992 第 1 回カイロ国際陶芸展（カイロ、エジプト）
ジェニングス陶芸展 優秀賞（メルボルン、オーストラリア）
現代陶芸国際激請展 グランプリ（国立歴史博物館／中華民国）
- 1993 「現代の陶芸：1950-1990」展（愛知県美術館／愛知）
- 1994 国際陶芸博覧会（台北、中華民国）／京都野外陶芸展'94（梅小路公園／京都）
- 1995 「ファエンツァの風」（土岐、岐阜）
- 1996 第 10 回京都在住現代陶芸家展（大丸百貨店／京都）
世界・炎の博覧会 ストリート・ファニチャー展（佐賀）
- 1997 「ART SESSION IN 安楽寺」（安楽寺／東山、京都）
- 1999 第 5 回国際陶磁器展美濃'99 銅賞（岐阜）
- 2000 「VIVA20C 20 世紀の物質と映像のデザイン」展（日本デザインコミッティー主催）
NHK BS 「やきもの探訪」寄神宗美—破片に生命が通う—出演
訪問者 建築家・吉村篤一氏
- 2001 「京都の工芸（1945-2000）」（京都国立近代美術館、東京国立近代美術館）
- 2002 「現代陶芸の 100 年展：日本陶芸の展開」（岐阜県現代陶芸美術館／岐阜）
- 2007 清洲国際工芸ビエンナーレ 招待（清州、韓国）
- 2009 京畿道世界陶磁ビエンナーレ（韓国）
- 2012 大型陶磁ワークショップ in KOREA（檀国大学／韓国）
- 2016 '16 杭州国際陶磁ビエンナーレ（中国美術学院／中国）
- 2017 '17 杭州国際クラフト会議（中国美術学院／中国）
- 2018 国際現代陶芸展（北京精華大学／中国）



LIXIL は、創業期のクラフトマンシップを今に語り継ぎ、常に建築家やデザイナーと手を携え、機能性と洗練された美しさの融合を追求してきました。それこそが、私たちが掲げる「LIVING CULTURE」というコンセプトです。私たちはミュージアム、ギャラリー、資料館および出版活動を柱とした文化活動を通して、ものづくりの技と心を次世代に伝え、斬新なアイデアを発信する場を提供し、LIVING CULTURE を表現していきます。LIXIL は、ものづくりにこだわり、ライフスタイルや時代に合った美しく機能的な製品を作り続けることで世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献していきます。